

# 奄美医科研教育講座

## 奄美の医療を考える

医科研×大島高校×奄美看護福祉専門学校

2024年10月5日(土)

9:30~12:00

参加費:無料

場所:アマホームPLAZA (奄美市市民交流センター)

9:30~ 9:35

開会挨拶

真下 知士 東京大学医科学研究所 教授

9:35~10:05

科学リテラシーのすゝめ~遺伝子からRNAワクチンまで~

稲田 利文 東京大学医科学研究所 教授

10:05~10:20

私の経験記

久原 みな代 東京大学医科学研究所附属病院 副看護部長

10:20~10:35

世代間交流に新しい風を!!結のころですべての人に健康を

鹿児島県立大島高等学校 3年生

10:35~11:05

地域医療に関する実地調査の発表

奄美看護福祉専門学校 看護学科 2年生

11:20~12:00

医科研×高校生×看護学科生 討論会



東京大学医科学研究所



県立大島高等学校



奄美看護福祉専門学校

# 講演者プロフィール



稲田 利文  
いなだ としふみ

東京大学医科学研究所RNA制御学分野 教授  
出身地：鹿児島県奄美大島名瀬市平田町

〔学歴〕

昭和52年 奄美市立（旧名瀬市立）奄美小学校 卒業  
昭和55年 奄美市立（旧名瀬市立）名瀬中学校 卒業  
昭和58年 鹿児島県立錦江湾高校理数科卒業（10期）  
昭和62年 東京大学理学部生物化学科 卒業  
平成4年 東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻博士課程 修了

〔職歴〕

平成4年 名古屋大学理学部分子生物学科 助手  
平成10年 カリフォルニア大学バークレー校留学  
平成13年 名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻 助教授  
平成22年 東北大学大学院薬学研究科生命薬学専攻遺伝子制御薬学分野 教授  
令和3年 現職

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは人類にとって大きな厄災であったが、その一方で感染症に立ち向かうRNAワクチンという武器の大切さを実感する契機にもなった。医学薬学の基盤には生命科学の進歩があり、細菌感染を防ぐ抗生物質が非常の多くの命が救ってきたことは顕著な例である。進展著しい抗がん剤を含め、現在使用されている薬の99%近くは、過去50年以内に開発されたものであり、RNAワクチン開発にも遺伝子発現に必須なRNAに関する基礎研究が大きく貢献している。医学の進歩には我々市民の科学リテラシーが非常に重要であり、基礎生命研究への理解を深めてもらう機会として、RNAの働きや仕組みに関する最新の研究成果を紹介したい。

〔奄美の高校生、看護学生へ一言〕  
夢中になれる時間を大事にしてください。Stay hungry, stay foolish.



久原 みな代  
ひさはら みなよ

東京大学医科学研究所附属病院看護部  
副看護部長  
出身地：鹿児島県奄美大島名瀬市大熊町

〔学歴〕

昭和52年 奄美市立（旧名瀬市立）朝日小学校 卒業  
昭和55年 奄美市立（旧名瀬市立）朝日中学校 卒業  
昭和58年 鹿児島県立奄美高等学校 家政科卒業  
昭和60年 板橋中央看護学校 准看護学科卒業  
昭和63年 板橋中央看護学校 高等看護学科卒業

〔職歴〕

昭和58年 南春日部中央病院 入職  
平成4年 東京大学医科学研究所附属病院 入職  
平成19年 東京大学医科学研究所附属病院 副看護師長  
平成21年 東京大学医科学研究所附属病院 看護師長  
平成27年 現職

〔奄美の高校生、看護学生へ一言〕  
何にでも興味を持ち挑戦してください。  
何があるかわかりませんから～

## 開催会場

アマホームPLAZA（奄美市市民交流センター）  
住所：奄美市名瀬柳町2番1号  
電話番号：0997-52-1816  
<https://warabee.org/amahomeplaza/>

## 問い合わせ先

東京大学奄美医科研シンポジウム事務局  
[alia\\_sympto\\_group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:alia_sympto_group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)



東京大学医科学研究所  
The Institute of Medical Science, The University of Tokyo